

1 年前期 火曜日 1、2 時限

新入生セミナー 文献紹介 6 月 13 日

「世界を動かすユダヤの陰謀」を読んで

179114B 川口直樹

はじめに

この本では、ユダヤというひとつのコミュニティが近現代の世界に及ぼしてきた事例と今後の展望について書かれている。

概略

なぜユダヤなのか？

古くから迫害の歴史があり、「選民思想」と「救世主信仰」が心の拠り所であった。

ユダヤ事件簿①世界の金融・経済とユダヤ

世界の富の 7 割を保有すると噂されるユダヤ系財閥「ロスチャイルド一族」

米国の GDP の 5 割以上を手中に収めると噂される「ロックフェラー家」

世界のほとんどの国の中央銀行にはロスチャイルドの資本が流入している。

→中央銀行の特権「通貨・紙幣発行権」はロスチャイルドが握っている。

「借りる者は貸す者の奴隷となる」(『旧約聖書』より)

☆世界恐慌、バブル崩壊、リーマンショックなどもユダヤの策略により起こった？

ユダヤ事件簿②戦争とユダヤ

i) 日露戦争はロシアへの敵討ち？

ロシアの南下政策に脅威を感じていた日本&ユダヤ人大量虐殺でロシアを憎むユダヤ

→「ロシアを倒す」という双方の思惑が一致

戦費総額の約 70%に当たる約 13 億円を日本に提供、日本がこの時の借金を完済したのは 1986 年のこと

☆日本は「巨額の利息を払い続ける財布」であり「ロシアへの報復の手先」でしかなかった

ii) 東西冷戦構造はユダヤが作った？

アメリカが核兵器開発、次いでロシアも開発に成功

→ロシアに製造情報を流したのはマンハッタン計画の中心人物であったユダヤ系アメリカ人のロバート・オッペンハイマー

マンハッタン計画ではロスチャイルドが所有権を持つ鉱山からウランを調達

☆世界に軍備を拡張させ、核兵器を売るために二大大国を対立させた。

iii) 地球温暖化は意図的に仕組まれた？

温暖化により原子力産業が得をする、原子力発電に必要なものはウラン

☆原子力発電推進のため、CO2 を問題視するように仕向けた

ユダヤ事件簿③現代世界とユダヤ

i) イスラム国はユダヤが生み出した？

IS はイルミナティが、アメリカがシリアを空爆することを正当化しイスラエルを守るために作った。

ii) マイケル・ジャクソンは陰謀により暗殺された？

ロスチャイルドをはじめとする銀行家たちによるアメリカ人口減少計画

→細菌兵器を新型インフルエンザのワクチンとして投与し、未曾有の大量殺人を目論む
この計画をしたマイケルはロンドン公演で世界に向け発表する決意をした。

→事前に露呈し、ユダヤの銀行家たちにより殺害

ユダヤ事件簿④これからの世界とユダヤ

ユダヤ人の最終目的「ユダヤが牛耳る世界帝国の樹立」、そして「選ばれた民」であるユダヤ人の繁栄

☆ユダヤに巣食われている NASA で進む極秘計画

i) 木星を第2の太陽とした‘木星系’への移住計画 ii) 火星への移住計画

すでにアメリカはシャトル型宇宙船や巨大 UFO を多数所有しているとの噂。

この計画に参加できるのはユダヤ人と限られたエリートのみで、ほとんどの人類は切り捨てられてしまう。

ここ数年でこうした情報が多く漏れるようになったのは、もしかしたらユダヤの準備が整ったからなのか？真実は、もう少しでわかる。(筆者談)

感想

これまではユダヤと聞いても、キリスト教・イスラム教に次ぐ三大宗教の1つとしか思っていませんでしたが、この本を読んで印象が大きく変わりました。内容の多くが都市伝説的な事柄なのでどこまでが真実かはわかりませんが、この世界に多大な影響を及ぼしていることは間違いなさそうです。過去の事例を見ると、彼らの用意周到な行動には驚かされます。僕はこの手の話は真に受けてしまうタイプの人間なので、移住計画等の今後の世界に及ぼすユダヤの影響を考えると少し恐ろしいですが、僕が心配したところでどうなる話でもないので、とりあえず大学生活を充実させることに努めたいと思います。

参考図書

『世界を動かすユダヤの陰謀』王様文庫 並木伸一郎 著